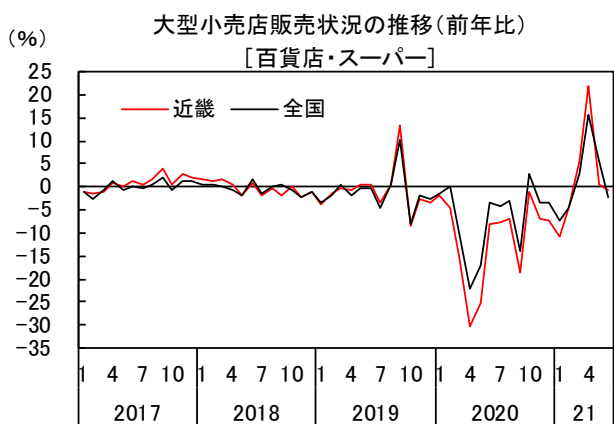
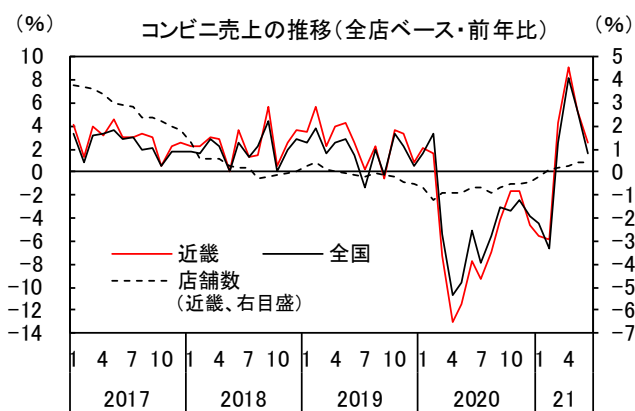


## 関西の景気トピックス【消費関連（21年6月）】

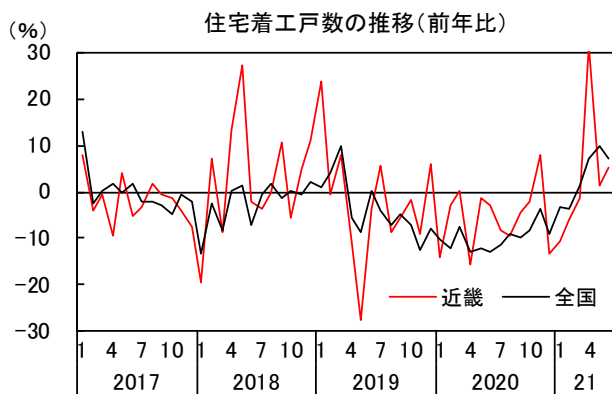
- 21年6月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス0.6%と4か月ぶりの減少となっている。3度目の緊急事態宣言による影響が大きく、特に百貨店では、大阪を中心に土日の一部売場で休業が続いたことが響いている（業態別には、百貨店が1.1%増、スーパーが1.5%減）。
- コンビニ売上（経済産業省）の6月は、全店ベースで前年比プラス2.6%と4か月連続で増加した。こちらは主に前年の落ち込みによる反動で、増加が続く形となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の6月は、前年の反動もあり、前年比プラス5.4%と3か月連続の増加となった。内訳としては、持家、貸家が増加となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向は、大阪は直近で前年を上回る動きが続いているが、前年の反動による部分が大きい。2年前比ではマイナスとなるなど、本格的な回復にはまだまだ時間がかかるとみられる。



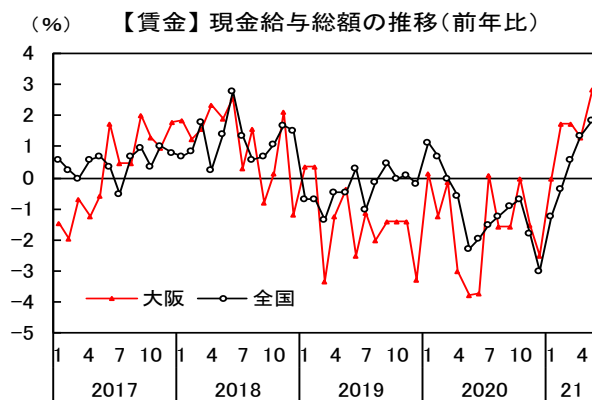
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」